

MacDrive™ 9

日本語版

クイックガイド

目次

●はじめに.....	3
●動作環境.....	4
●前バージョンからの変更点.....	5
●インストール.....	6
●ライセンス認証.....	9
●アンインストール.....	19
●MacDriveの使い方.....	22
●よくあるご質問.....	24
●テクニカルサポート.....	28
●用語集.....	29
●商標、著作権と使用許諾.....	33

はじめに

古い荷物や資料を整理していると、過去にMacintoshで作成したMO、CD-ROMなどが出てくる事があります。

このようなメディアは今日一般的に使用されているWindowsコンピュータではアクセスする事ができず、内容を確認するにはMacintoshコンピュータを用意する必要があります。

また、デザイン事務所、映像制作会社などではDTP、DTVなどの目的でMacintoshを使用している事があります。

この場合も同様の問題により、Macintosh用のメディアにアクセスするにはWindows / Macintosh両方からアクセスできるファイルサーバーを用意するなど、何らかの対応が必要でした。

MacDriveはこのような問題を解決し、Windows上からMacintoshで作成したメディアや、ファイルへのアクセスを簡単に可能にします。

またMacDriveは、1台のMacintosh上でWindowsとMac OS Xを起動できるBoot Camp環境下で使用する事で、通常、Windows側で起動するとMac OS X側のローカルディスクにアクセスできない問題も解決できます。

真のクロスプラットフォーム環境を実現する為、MacDriveをお使いください。



Macディスク / ファイルとは？

MacDriveでは、Macintoshでフォーマット(※)されたディスクを「Macディスク」、同様にMacintosh用のファイルを「Macファイル」と呼んでいます。

※ Macintosh用のフォーマットとしてはHFS、HFS+、HFSX(case-sensitive HFS+)などがあります。詳しくはお使いのMacintoshコンピュータのヘルプをご参照ください。



本マニュアルでは特に説明がない限り、MacDrive 9 Proの画像を使用して説明します。MacDrive 9 Standardをお使いの場合、機能が搭載されていないなどの理由により、実際の画面と異なる箇所があります。ご了承ください。

動作環境

●対応OS

Windows 7 (32/64bit両対応)、Vista SP1以降 (32/64bit両対応) / XP SP2以降 (32bitのみ対応)
Windows Server 2003 (32bitのみ対応) / 2008 (32/64bit両対応)

●ハードディスク

10MB以上の空き容量

●その他

CD-ROMドライブ(インストール時に必要)

Microsoft Internet Explorer 6.0以上

※オンラインでライセンス認証を行う場合、インターネット接続可能な環境が必要です。

●対応フォーマット

Mac OS Xや以前のMac OSで作成されたHFS、HFS+、HFSXボリューム

●対応ディスク

ハードディスク、Time Machineファイル、DMGディスク(ディスクイメージファイル)、DVD、FD、iPod、CD、MO、Zip

※400KB、800KBのMacintosh用FDにはアクセスできません。

●対応デバイス

eSATA、SATA、FireWire (IEEE1394a/b)、IDE、USB 3.0 / 2.0 / 1.1、ファイバーチャネル、SCSI、パラレルポート

●MacDrive 9 Proのみ対応しているディスク/デバイスについて

MacDrive 9 ProはMac OS X 10.4以降のディスクユーティリティで作成した、ミラーリング、ストライプ化、連結などのディスクセットに対応しています。またMacDrive 9 ProではBlu-rayディスクの作成に対応しています。

前バージョンからの変更点

MacDrive 9では以下の新機能の搭載や、機能の強化が行われています。

■MacDrive 9 Standard / Pro共通

- [新規] Windows Server 2003に正式に対応しました(32ビット版のみ)。
- [改善] MacDriveディスクマネージャーがGPTパーティションの作成、管理に対応しました。
- [改善] Windows 7のジャンプリストに対応しました。
- [改善] ソフトウェア起動時の画面を、より操作のかんたんな「クイックスタートランチャー」に変更しました。
- [改善] Explorerで読み込み専用のMacディスクや、DMGファイルを表示した際、小さな鍵アイコンを付加して表示するようにしました。
- [改善] アップデートシステムを更新し、定期的にアップデートを自動チェックするようにしました。
- [変更] MacDriveオプションの互換性に関するデフォルトの設定を、パフォーマンス優先に変更しました。
- [変更] Macディスクのフォーマットと修復を、それぞれ別個のプログラムとして独立させました。
- [変更] Explorer上でMacディスクを右クリックした際に、表示されるメニューを変更し、MacDriveに関連する項目は「MacDrive」サブメニュー内にまとめて表示されるようにしました。

■MacDrive 9 Proのみ

- [新規] RAID対応を追加。ミラーリング、ストライブ化、連結といった形式に対応しています。
- [新規] 安全な削除機能を追加。ファイル復旧ソフトなどで復元できないよう、ファイルを完全に削除します。
- [改善] 自動デフラグ機能を追加しました(Windows XPには対応していません)。
- [改善] スパースディスクイメージ(.sparseimageファイル)に対応しました。
- [改善] Blu-rayディスクの作成に対応しました。
- [改善] HFS+形式のISOファイル作成に対応しました。

インストール

本ソフトウェアは以下の手順でインストールを行ってください。

1. セットアッププログラムの実行

本製品のCD-ROMをドライブに挿入してください。

通常、セットアッププログラムが自動的に実行されます。



もし、自動的に実行されない場合、マイコンピュータ(7 / Vistaの場合コンピュータ)からCD-ROMを参照し、CD-ROM上にある本製品のアイコン(左図参照)をダブルクリックして実行してください。

2. インストールの確認

お使いのコンピュータがWindows Vistaの場合、インストールの確認の為、「ユーザー アカウント制御」というダイアログが表示されます。

本製品をインストールする場合は、[続行(C)]をクリックしてください。



3. 使用許諾契約

セットアッププログラムの準備が完了すると、使用許諾契約が表示されます。
本製品をご使用になられる場合、本契約に同意いただく必要があります。



使用許諾契約をよくお読みになった上で、[使用許諾契約の条項に同意します(A)] にチェックをつけて、[次へ(N)>]をクリックしてください。

4. セットアップの開始

使用許諾に同意いただくとインストールにかかわる全ての準備が完了します。



[インストール(I)]をクリックして、インストールを実行してください。

5. インストール完了

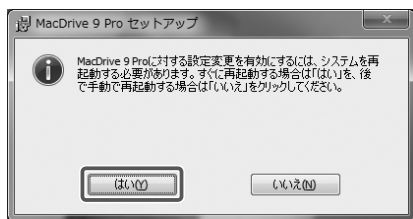
以上でインストールは完了です。



[終了(F)]をクリックしてください。

6. コンピュータの再起動

お使いのコンピュータの状態によっては、インストールを完了するのにコンピュータを再起動しなければならない場合があります。



この場合、再起動を確認するダイアログが表示されるので、通常は[はい(Y)]を選択してコンピュータを再起動してください。

ライセンス認証

本製品を継続してお使いいただくにはライセンス認証を行い、ソフトウェアを有効にする必要があります。

ライセンス認証は以下の3つの方法で行えます。

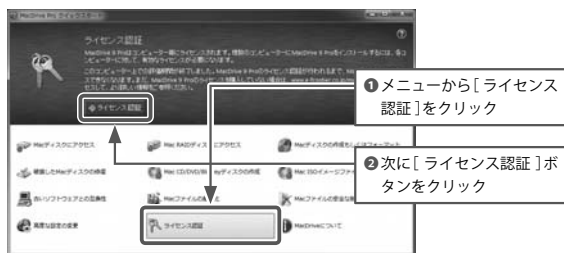
- ① インターネット経由でライセンス認証を行う
- ② MediafourのWebサイトでライセンス認証を行う
- ③ 電話でライセンス認証を行う

各方法の具体的な手順は以下の通りです。

① インターネット経由でライセンス認証を行う

Step 1. ライセンス認証を開始する①

ライセンス認証を開始するには、まずクイックスタートランチャーから「ライセンス認証」を選択してください。



クイックスタートランチャーは本ソフトウェアをインストールした直後や、スタートメニューから「MacDrive 9 Quick Start」を選択すると表示されます。

① インターネット経由でライセンス認証を行う

Step 2. ライセンス認証を開始する②

「ライセンス認証」ダイアログから、[購入済み(ライセンス認証を行う)]を選択して、[次へ(N)]をクリックしてください。



Step 3. シリアル番号の入力

[シリアル番号(S):]の欄に、ご購入いただいた製品のシリアル番号を入力したら、[インターネットを使用して今すぐライセンス認証を行う(A)]を選択して、[次へ(N)]をクリックしてください。



① インターネット経由でライセンス認証を行う

Step 4. ライセンス認証の完了

以上でライセンス認証は終了です。

[完了(F)]をクリックして、「ライセンス認証」ダイアログを閉じてください。



② MediafourのWebサイトでライセンス認証を行う

Step 1. その他のライセンス認証を選択

インターネットでライセンス認証を行う場合と同様に操作し、Step 2まで進めてください。

Step 3に進んだらシリアル番号を入力した後、[その他のライセンス認証オプションを表示する(S)]を選択して、[次へ(N)]をクリックしてください。



Step 2. ライセンス認証の方法を選択

[このコンピュータでインターネットに接続する(T)]を選択してください。また、MacDriveをインストールしたコンピュータと違うコンピュータでWebサイトへ接続する場合は[別のコンピュータでインターネットに接続する(A)]を選択してください。選択したら[次へ(N)]をクリックしてください。

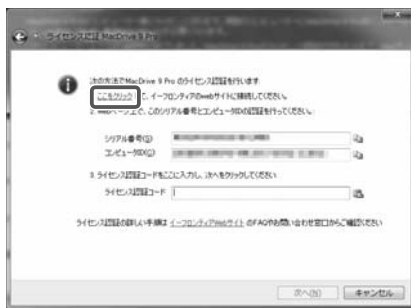


② MediafourのWebサイトでライセンス認証を行う

Step 3. Webサイトに接続する ①

画面上にある「ここをクリック」というリンクをクリックして、Webサイトに接続してください。

前のステップで、[別のコンピュータでインターネットに接続する (A)]を選択した場合は、接続するコンピュータのブラウザに、画面上に表示されるURLを入力して接続してください。



Step 4. Webサイトに接続する ②

MediafourのWebサイトが表示されます。

[ライセンス認証を行う]をクリックしてください。



お使いのコンピュータにウイルス対策ソフトウェアがインストールされていると、シリアル番号、コンピューターIDの送信がブロックされ、MediafourのWebサイトに何も表示されない場合があります。この場合、ウイルス対策ソフトウェアをオフにしてから、MediafourのWebサイトに接続してください。

② MediafourのWebサイトでライセンス認証を行う

Step 5. アクティベーションコードの発行

アクティベーションコードが発行されます。



発行されたコードを「ライセンス認証」ダイアログの[ライセンス認証コード]の欄に入力して、[次へ(N)]をクリックしてください。



② MediafourのWebサイトでライセンス認証を行う

Step 6. ライセンス認証の完了

以上でライセンス認証は終了です。

[完了(F)]をクリックして、「ライセンス認証」ダイアログを閉じてください。



③ 電話でライセンス認証を行う

Step 1. その他のライセンス認証を選択

インターネットでライセンス認証を行う場合と同様に操作し、Step 2まで進めてください。

Step 3に進んだらシリアル番号を入力した後、[その他のライセンス認証オプションを表示する(S)]を選択して、[次へ(N)]をクリックしてください。



Step 2. ライセンス認証の方法を選択

[インターネットに接続しない(D)]を選択して、[次へ(N)]をクリックしてください。



③ 電話でライセンス認証を行う

Step 3. 電話をかける

画面上に[シリアル番号]と[コンピューターID]が表示されます。

弊社テクニカルサポートに電話をかけ、MacDrive 9のライセンス認証を行いたい旨と、この2つの情報をお伝えください。

テクニカルサポートで、いただいた情報を確認後、[ライセンス認証コード]をご回答致しますので、この情報を画面上の該当箇所に入力して[次へ(N)]をクリックしてください。



③ 電話でライセンス認証を行う

Step 4. ライセンス認証の完了

以上でライセンス認証は終了です。

[完了(F)]をクリックして、「ライセンス認証」ダイアログを閉じてください。



もし上記方法を試しても、正常にライセンス認証が行えない場合、弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。連絡方法はテクニカルサポートの項目(P28)をご参照ください。



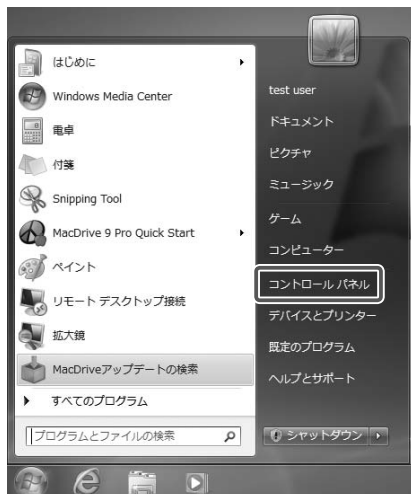
ユーザー登録とライセンス認証は同じものではありません。ユーザー登録を行わなくてもMacDrive 9を使用する事ができますが、ライセンス認証は行わなければ継続して本ソフトウェアを使用する事はできません。

アンインストール

本ソフトウェアをアンインストールするには、以下の手順で操作してください。

Step 1. コントロールパネルの表示

スタートメニューから「コントロールパネル」を選択してください。



Step 2. アンインストール

[プログラム]→[プログラムのアンインストール] (Windows 7 / Vistaの場合) もしくは、[プログラムの追加と削除] (Windows XPの場合) を選択してください。



Step 3. プログラムのアンインストールまたは変更

表示される一覧から「MacDrive 9もしくはMacDrive 9 Pro」を選択して[アンインストール]をクリックする (Windows 7 / Vista の場合) か、[削除] ボタンをクリック (Windows XPの場合) してアンインストールを実行してください。



Step 4. アンインストールの確認

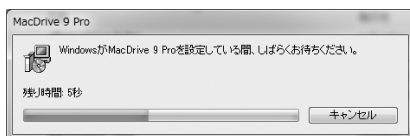
本当にアンインストールを実行するか確認が促されます。

[はい (Y)] をクリックしてください。



Step 5. アンインストールの実行中

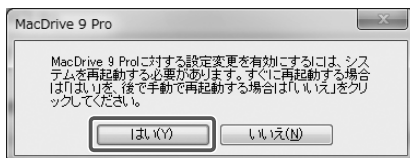
アンインストールが開始されます。処理が完了するまでしばらくお待ちください。



Step 6. コンピュータの再起動

アンインストールが完了するとコンピュータの再起動が促されます。

通常は[はい (Y)] をクリックして再起動してください。



MacDriveの使い方

ここではMacDriveの基本的な使い方を説明します。より詳しい情報は本ソフトウェアのヘルプファイルに記載がありますので、そちらをご参照ください。

クイックスタートランチャーを起動する

MacDrive 9をインストールすると、下図のような本ソフトウェアの全ての機能を実行できる、クイックスタートランチャーが表示されます。ここから各機能の概要の確認と、実行が行えます。



また、クイックスタートランチャーはスタートメニューからも表示することができます。クイックスタートランチャーを表示するには[スタート]→[すべてのプログラム]→[MacDrive 9 StandardもしくはMacDrive 9 Pro]→[MacDrive 9 Quick StartもしくはMacDrive 9 Pro Quick Start]を選択してください。

ヘルプファイルの参照

MacDrive 9の詳しい情報が記載された、ヘルプファイルを参照するにはクイックスタートランチャーから詳しく知りたい機能を選択し、右上の[?]ボタンをクリックしてください。



Macディスクにアクセスする

Macディスクを参照し、その内容を確認したい場合は、クイックスタートランチャーから[Macディスクへアクセス]を実行するか、Windowsでファイルを参照する時のように、[マイコンピュータもしくはコンピュータ]を実行してください。Windows標準のExplorerにリンゴマークの付いたドライブが表示されます。これがMacディスクです。



あとはWindowsでファイル操作を行う時と同じやり方で、このディスクにアクセスできます。

よくあるご質問

ライセンス認証とはなんですか？

ライセンス認証(アクティベーション)とは、製品が正規のライセンス数に応じた台数のコンピュータにインストールされていることを確認する目的で、シリアル番号とコンピュータの情報を取得するものです。製品をご利用し続けるには、ライセンス認証の手続きを行う必要があります。認証手続きでは、入力されたシリアル番号と、コンピュータのハードウェア情報から生成される固有の番号が、インターネットを通じてオンライン認証サーバーへ送信されます。これ以外の情報(氏名、住所、コンピュータ名、ユーザー名など)が送信されることはありません。

再インストールを行うので、現在のライセンス認証(アクティベーション)を解除する方法を教えてください

ライセンス認証の解除には2つの方法があります。

1つ目はMacDriveをインストールしたコンピュータをインターネットに接続し、この状態でアンインストールしてください。ライセンス認証の解除が自動的に行われます。

もう1つの方法は、MacDrive 9クイックスタートランチャーから「ライセンス認証の解除」を選択、実行してください。

OSのリカバリー後にMacDriveを再インストールしたところ、ライセンス認証の制限回数を超えていますと表示されて認証できません

問題の発生したシリアル番号を、次のお問い合わせフォームからテクニカルサポートにご連絡ください。情報を確認後、ご回答いたします。

・再アクティベーションお申込みフォーム：

https://secure.e-frontier.co.jp/support_mediafour/

フロッピーディスクを使用できません

フロッピーディスクが破損している場合、Macintoshのフォーマットではない場合、800キロバイトまたは400キロバイトのディスクである場合などは、フロッピーディスクはMacDriveによって認識されません。ディスクの左上に四角い穴が空いていない場合は、1.44メガバイトディスクではありません。なお、右上にあるのは書き込み禁止用の穴です。Mac OS上で、ディスクが正しくフォーマットされており、破損していないことを確認してください。ディスクの動作がMacintosh上でも正常ではない場合は、Macintoshのディスク修復ツールを使用して、ディスクを調べてみてください。

Macintoshのファイルを開けません

MacDriveはファイルの変換ツールではありません。MacintoshのファイルをWindowsで使用するには、そのファイルを扱うことのできるソフトウェアをWindows側に用意しなければなりません。多くのソフトウェア製品(Microsoft Wordなど)には、Windows版とMac OS版の両方があり、そういったソフトウェアのデータファイルを共有するのは大変簡単です。また、音声や画像ファイルの場合、特定のオペレーティングシステムに依存しない形式(MP3、JPEG、GIFなど)になっており、そういったファイルであれば、多くのソフトウェアで取り扱うことができます。その他のデータ、たとえばデータベースのファイルのようなものを扱えるかどうかは、MacとPCの両方にインストールしているソフトウェアに依存することになります。

Macintoshのゲームやワープロなどのソフトウェアを起動できません

MacDriveはMac OSのエミュレーターではありませんので、Windows上でMacintoshのソフトウェアを動作させることはできません。MacDriveはクロスプラットフォームでドキュメントやデータファイルを共有するためのものです。一方のプラットフォームからもう一方にデータを移す場合、両方のプラットフォームに、そのデータを取り扱えるソフトウェアが必要になります。たとえば、MacDriveはAdobe Photoshopの画像ファイルをMacintoshとWindowsの両方で共有できるようにしますが、Photoshopあるいは互換性のあるソフトウェアが両方のシステムになれば、ファイルを使用することができません。

アイコンや拡張子が期待通りに表示されません

MacDriveオプションのうち、「拡張子マップ」タブでは、Windowsで作成したファイルに対しMac OSでどのようなアイコンを表示するか、またはMacintoshフォーマットのディスクにあるファイルに対しWindowsでどのようなファイル名、拡張子を表示するかを決める規則を簡単に編集できます。

ファイル名に予期しない文字が表示されます

MacintoshとWindowsの文字セットが違うためです。それぞれのオペレーティングシステム間で国際文字と記号を正しく変換するように細かく決められていますが、どちらのオペレーティングシステムももう一方では使えない文字を使っています。このためWindowsではファイル名が正しく表示されないことがありますが、ファイルを開くことはできます。また、Mac OSでは正しく表示されます。MacDriveファイル名のモードを変更する事で、表示される文字を調整することができます。

フォルダが空なのに削除できません

多くの場合、フォルダは空のように見えるだけです。フォルダにはMacintoshのシステムファイルが含まれていることがあり、MacDriveからアクセスできないようになっています。それ以外の可能性としては、Windowsが隠しファイルを表示しない設定になっているために、表示されないファイルが残っていることが考えられます。

PCのディスク管理ソフトウェアとMacディスクの相性が悪いようですが



この場合は注意が必要です。PCディスクのデフラグメント、保守管理または回復用のソフトウェアがMacディスクにアクセスすると、対処方法がわからず、強制的にPCディスクとして認識する事によって「修復」しようと試みます。修復は失敗し、ディスクのデータの一部または全部が失われてしまいます。決して修復させないようにしてください。

Mac CD-ROMなのにMacファイルが表示されないのはなぜですか？

CD-ROMにはMacintoshボリュームとPCボリュームの両方を持っているものがあります。通常、このようなハイブリッドCD-ROMを使うと、MacDriveはMacintosh (HFS/HFS+/HFSX) のボリュームを無視し、PC (ISO-9660) ボリュームにアクセスできるようにします。Macintoshボリュームにアクセスするには、ディスクのMacDriveショートカットメニューでMacintoshボリュームを選択します。

MacDriveオプションを変更したらファイルが行方不明になりました

デスクトップやWindowsエクスプローラのファイル一覧を更新するには、「表示」メニューで「最新の情報に更新」を選択するか、F5キーを押します。ファイル一覧を更新する方法はソフトウェアによって異なりますが、通常は、別のフォルダを選択してから元のフォルダに戻ると一覧が更新されます。

コンピュータを再起動すると「Macディスクにアクセスできません」というダイアログが表示されます

何らかの理由によって、Macディスクを構成するファイルや設定が壊れてしまった場合にこのダイアログが表示されます。この場合MacDriveのインストールを修復する事が推奨されます。もしインストールの修復を行いコンピュータを再起動してもうまくいかない場合は、テクニカルサポートに連絡してください。

テクニカルサポート

ヘルプファイルやよくあるご質問に記載の無い問題が発生した場合、弊社ホームページをご参照ください。

イーフロンティアホームページURL

<http://www.e-frontier.co.jp/>

弊社ホームページでは製品発売後、追加のあったトラブルシューティング情報などがFAQという項目に掲載されております。

弊社ホームページのサポートの項目を参照ください。

また、FAQを参照しても問題が解決しない場合、同ホームページにあるお問い合わせフォームからご連絡いただくか、弊社テクニカルサポート電話窓口までご連絡ください。

■テクニカルサポート連絡先

お問い合わせフォーム：

<https://secure.e-frontier.co.jp/support/>

電話：0570-028-222

受付時間：10:00～12:00 / 13:00～17:00

（土日、祝祭日、年末年始など、弊社の定める休日を除きます）

用語集

BinHex

Bin Hexは、Macintoshフォーマット以外のディスクやコンピュータにMacファイルを保存して転送するためのファイル形式です。BinHexはインターネットなどによく使われるMacファイルの形式です。BinHexファイルには元のMacファイルの名前、アイコン、システムビット、日付、ファイルタイプ、クリエータ、データフォークおよびリソースフォークが含まれています。MacDriveはBinHexファイルを作成することはできませんが、既存のBinHexファイルからMacファイルを抽出することができます。

MacBinary

Mac Binaryは、Macintoshフォーマット以外のディスクやコンピュータにMacファイルを保存して転送するためのファイル形式です。MacBinaryファイルには元のファイルの名前、アイコン、システムビット、日付、ファイルタイプ、ファイルクリエータ、データフォーク、およびリソースフォークが含まれています。MacDriveを使うと、MacBinaryファイルからMacファイルを抽出することも、MacintoshフォーマットのディスクにあるファイルからMacBinaryファイルを作成することもできます。

拡張子

Windowsでは多くの場合、ファイル名の後にピリオドと2文字または3文字の「拡張子」が付いています。これにより、あるファイルに記録されたデータの種別がWindowsで認識され、ユーザーに示されます。Windowsではこの拡張子によってファイルのアイコンの種類と、ダブルクリックした場合などのファイルの処理方法が決まります。

Windowsでは拡張子はとても重要です。Windowsでは主に拡張子によってファイルの内容を示すからです。

クロスプラットフォーム

複数のオペレーティングシステム間で使用することを目的とするものを意味します。通常、MP3オーディオファイルやJPEG画像ファイルなど、一般的なデータファイルの多くは複数のオペレーティングシステムで使用されます。ソフトウェアパッケージにもクロスプラットフォームを考慮したものがあります。つまり同じデータファイルを同一のソフトウェアパッケージの機能を通じて複数のオペレーティングシステムで使用できます。MacDriveを使用すると、このようなソフトウェア上を使用してドキュメントや、データファイルをMacintosh、Windows両方で開くことができます。

ショートカットメニュー

Windowsのソフトウェアでは、マウスの右クリックによって表示されるポップアップメニューから機能やオプションを利用することがよくあります。このメニューは状況(コンテキスト)に依存しますので、「コンテキストメニュー」と呼ばれることもあります。メニューの内容は、マウスがポイントしているものによって変わります。例えば、リストボックスの項目のショートカットメニューには選択した項目だけに影響を与える項目が表示され、リスト自体(特定の項目をポイントしていない状態)のショートカットメニューにはリストの外観と動作に影響を与える項目が表示されます。

ショートファイルネーム

DOSスタイル、いわゆる8文字+ピリオド+3文字のファイル名。以前の16ビットのソフトウェア(Windows3.1以前)の多くはこのショートファイル名しかサポートされていませんでした。大文字しか使用できない上に英字、数字と一部の記号しか使用できません。また、空白文字の使用もできません。

ディスクの作成(焼く)

CD-R / RW、DVD±R / RWのディスクを作成する場合に、データを書き込むことをディスクを焼くということがあります。この言葉はデータをディスクの面にディスクを書き込む(修正する)時にレーザーがおこなう挙動からこう呼ばれております。

データフォーク

Macファイルには「フォーク」と呼ばれる2つのコンポーネントがあります(リソースフォークも参照)。データフォークは主要なフォークで、MacintoshとWindowsで共有するときに利用するデータは通常ここに記録されます。MacDriveでMacディスクのファイルリストを表示するときは、データフォークが必ず表示されます。

パーティション

同じディスクの中に他の領域と分けられて設定されたエリアです。基本的にはひとつのボリューム(ボリュームも参照)として認識します。

ファイルクリエータ

4文字のコードで構成されるMacファイルのプロパティで、ファイルの作成元であるソフトウェアを表します。通常、この情報はMacintoshを使用しているときは利用できませんが、MacDriveを使うとファイルのプロパティウィンドウの「MacDrive」タブでこの情報を利用できるようになります。

ファイルタイプ

4文字のコードで構成される、Macファイルのプロパティでファイルに保存されたデータの性質を表します。通常この情報はMacintoshを使用しているときは利用できませんが、MacDriveを使うとファイルのプロパティウィンドウの「MacDrive」タブでこの情報を利用できるようになります。

マウント

ボリューム(ボリュームも参照)にアクセスできるようにするための動作です。

リムーバブルメディアを挿入したり、ホットスワップのドライブを接続した場合は、Windowsはディスクをスキャンしてボリュームにあるパーティション(パーティションも参照)を探します。マウントされると、ドライブレターが割り振られてそのディスクにアクセスできるようになります。

マウント解除

アクセス可能なボリューム(ボリュームも参照)へのアクセスを正しい方法で解除することです。

マルチセッションCD-R

マルチセッションCD-Rは1回だけの書き込みではなく、2回もしくはそれ以上にわたり追記されて作成されたディスクです。このディスクには別個の複数のボリュームが存在します。

リソースフォーク

これはMacファイルの第二のコンポーネントです(データフォークも参照)。
ファイルのリソースフォークに関する情報はMacDrive「ファイルプロパティ」タブにあります。

リムーバブルメディア

物理的にディスクが出し入れ可能なタイプの記録メディア。例えば、MOやZip、Jaz、Syquestが該当します。

ロングファイルネーム

ファイル名の制限(半角8文字+ピリオド+3文字)を超えるファイル名です。
Windowsデスクトップ、エクスプローラ、およびほとんどのWindowsソフトウェアではファイル一覧を長いファイル名で表示します。

商標、著作権と使用許諾

MacDrive、MacDriveロゴ、Mediafour、MediafourロゴはMediafour Corporationの商標です。XPlayはMediafour Corporationの登録商標です。

Microsoft、WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。

Apple、Mac、Macintosh、iTunes、iPodは米国およびその他の国で登録されているApple, Incの商標です。

その他全ての商標は、所有する各社の商標です。

Apple Public Source Licenseの元で使用された全てのソースコードは
go.mediafour.com/macdrive/apslからダウンロードし、同ライセンスの元で利用できます。

This documentation and proprietary software are Copyright©1996-2011 Mediafour Corporation. ©2011 e frontier, Inc.

MEMO